

修了生
インタビュー

■木材業務部 港運課 坂野 公隆 様
令和3年4月 港湾荷役科 入所
令和4年3月 港湾荷役科 修了
令和4年4月 名古屋港木材倉庫(株) 入社

Q.1 ポリテクセンター名古屋港で訓練を受講しようと思った理由は何ですか。

高校を卒業してから3年間、印刷会社で正社員として働いていました。ポリテクセンター名古屋港は、母親が勤めている職場の知り合いを通じて教えて頂き、こういう施設があることを知りました。港湾荷役科を受講しようと思ったのは、様々な資格を取得できることが一番の理由です。

Q.2 現在担当している仕事について教えてください。

木材を積んだ船が接岸したら、積んである木材をワイヤー等で玉掛けして荷卸しをおこなう船内作業や、倉庫ではフォークリフトでコンテナから荷物を出すデバンニング作業など、一班5名体制の班毎でそれぞれおこなっています。

Q.3 訓練を受講した中で、現在の仕事に役立っていることは何ですか。

やはりフォークリフトの応用実習や学科、訓練で学んだことが今でも非常に役に立っています。

Q.4 坂野さんが入社しようと思った理由を教えてください。

港湾荷役科の先生方と相談しながら業務内容や働き方などが自分にマッチする企業を探していたところ、希望する内容に近く、特に自分がやりたかったフォークリフトでの荷役作業もできることが決め手となり応募しました。

Q.5 日々の仕事を進めるうえで、気をつけていることは何ですか。

担当する仕事は常に緊張感をもってあたるのですが、やはりミスをしてしまうこともあります。上司や先輩方はフォローしてくれますが、安全に直結する事も有り、日々緊張感をもって仕事をしています。

Q.6

仕事をしていて楽しかったことや大変だったことはありますか。

仕事をしていてやりがいや楽しいと感じたのは、時間のかかる船からの荷卸ろし作業が無事終わったとき、フォークリフトを操作してコンテナからのデバンニング作業がスムーズに完了したときに仕事をしていて楽しいと思えましたし、同時にすごくやりがいも感じました。

Q.7

将来の目標を教えてください。

将来の目標は「監督」になりたいです。仕事の段取りや采配など全体を見渡せるような監督を将来の目標にしていきたいと考えています。

Q.8

ポリテクセンター名古屋港の訓練を受講しよう検討している方へメッセージをお願いします。

私は自分の将来について悩んでいた時、今後を見据えると様々な資格を取得出来ることにすごく魅力を感じ、港湾荷役科へ入所することを選択しました。取得した資格は様々な場所でも活かせる事が出来る宝物です。悩んでいる方は是非ポリテクセンター名古屋港の港湾荷役科で学んでいただき、資格取得を目指すとともに、日本の経済を支える魅力ある港湾企業への就職を目指していただきたいです。



インタビュー風景 ①
(左から伊藤様(上司)、坂野様、山本様(監督))



作業風景 ②
(フォークリフトオペレーター：坂野様)

取材には上司の伊藤様や監督の山本様にもご同席いただきました。坂野様の活躍状況をお聞きし、担当指導員にも笑顔が見られました。ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました。

作業風景(デバンニング作業)
※コンテナから材木を搬出したものをフォークリフトで受け取り倉庫に収める作業で、技術・技能はもとより、効率よく安全に作業を進めるためにはグループでの連携プレーが最も重要となります。